重要事項説明書

(訪問看護ステーション・介護予防訪問看護ステーション)

1 事業者（法人）概要

事業者の名称	医療法人 並木会
法人所在地	愛知県名古屋市天白区荒池二丁目1101番地
法人種別	医療法人
代表者氏名	理事長 並木 一代
電話番号	(052) 848-2000

2 事業所概要

事業所の名称	訪問看護ステーション平針なみき
指定番号	愛知県 2361690478 号
所在地	名古屋市天白区荒池二丁目1101番地
電話番号	(052) 848-2063
ファクシミリ番号	(052) 848-2039
管理者	中根 光奈子
通常の事業の実施地域	名古屋市天白区の全域、瑞穂区、名東区、緑区の一部地域、愛知郡東郷町の全域、日進市の一部区域とする。詳細については、別紙参照。

3 事業の目的と運営の方針

事業の目的	当事業所の看護職員、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士（以下「看護職員等」という。）が、病気や障害を持った人に主治の医師が必要と認める場合に対し、療養上の世話や必要な診療の補助を行い、自立した日常生活を営むことができるよう適切な事業の提供を目的とする。
事業運営の方針	<ol style="list-style-type: none">当事業所の従業員は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活動作の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるように支援する。指定介護予防訪問看護の提供に当たって、当事業所の看護職員等は、要支援者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援するとともに、利用者の心身の機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

4 事業所の職員体制

従業者の職種	員数	区分				常勤換算後の人員	事業者の指定基準	保有資格
		常勤		非常勤				
		専	兼	専	兼			
管理者	1	1				1.0		看護師
看護師	2	2				2.0		看護師
理学療法士	2	1	1			1.1		理学療法士

従業者の職種	員数	区分				常勤換算後の人員	事業者の指定基準	保有資格
		常勤		非常勤				
		専	兼	専	兼			
作業療法士								作業療法士
言語聴覚士								言語聴覚士

5 職員の勤務体制

従業者の職種	勤務体制	休暇
管理者	8:50 ~ 17:00	年間 109 日
看護師	8:50 ~ 17:00	年間 109 日
理学・作業・言語療法士	8:50 ~ 17:00	年間 109 日

6 営業時間

営業日	月曜日 ~ 金曜日 (但し、12月29日 ~ 1月3日を除く)
営業時間	9:00 ~ 17:00

7 サービスの概要

種類	内容
計画の作成	主治の医師の指示並びに利用者に係る居宅介護支援事業所が作成した居宅サービス計画（ケアプラン）に基づき、利用者の意向や心身の状況等のアセスメントを行い、援助の目標に応じて具体的なサービス内容を定めた訪問看護計画を作成します。
病状の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧、体温、脈拍、呼吸の測定 ・ 病気や障害の状態観察、健康相談など
療養上のお世話	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清拭、入浴など身体清潔のケア、食事及び排泄などの介助・指導 ・ 床ずれ等のスキントラブル防止の工夫や指導 ・ 服薬管理、療養環境の整備
床ずれの予防・処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ医の指示による床ずれの予防・処置
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体位変換、関節などの運動
医師の指示による医療処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種カテーテルの管理、点滴、注射、吸引など
療養生活や介護方法の支援・相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 療養生活の相談・指導 ・ 介護方法の相談・指導 ・ 家族の悩みの相談など精神的支援 ・ 医療、福祉サービスの紹介など
ターミナルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんの末期や終末期などでも、自宅で過ごせるよう支援

種 類	内 容
認知症の看護	・ 認知症の介護相談、悪化防止、事故防止の相談など
訪問看護従事者の 禁止行為	訪問看護サービス及び介護予防訪問看護サービスの提供にあたって、次の行為は行いません。 ・ 利用者の同居家族に対するサービス提供 ・ 利用者又は家族からの金銭、物品、飲食の授受 ・ 利用者の居宅での飲酒、喫煙、飲食 ・ 利用者又は家族等に対して行う宗教活動、政治活動、営利活動、その他迷惑行為

8 利用料金

【介護保険による利用料金】

(1) 基本利用料

訪問職種による 1 回あたりの訪問時間	訪問看護	介護予防訪問看護
看護師による 20 分未満	314 単位	303 単位
看護師による 20 分以上 30 分未満	471 単位	451 単位
看護師による 30 分以上 60 分未満	823 単位	794 単位
看護師による 60 分以上 90 分未満	1,128 単位	1,090 単位
理学療法士、作業療法士、又は 言語聴覚士による訪問	294 単位	284 単位

<介護保険の計算方法>

- ・すべての単位数の合計に、介護保険で定められた地域ごとの 1 単位の単価を乗じたものが総利用料（円未満切り捨て）となります。
- ・介護保険負担割合証に記載された割合に応じた額を請求いたします。
- ・1 ヶ月の合計で請求いたします。

※主治医の診療に基づき、一時的な頻回な訪問看護の必要性を認めた場合は、特別訪問看護指示書の交付により、医療保険にて訪問します。

※准看護師が訪問を行った場合は、所定単位数×90/100に相当する単位数で算定されます。

※理学療法士等が訪問看護を提供している場合には、その訪問が看護業務の一環としてのリハビリテーションを中心としたものである場合に看護職員の代わりに訪問させるものです。

(2) 加算

- ① 夜間・早朝加算 所定単位数×25/100 (夜間又は早朝の場合)
深夜加算 所定単位数×50/100 (深夜の場合)
夜間 (18 時～22 時) 又は早朝 (6 時～8 時)、深夜 (22 時～翌朝 6 時) にサービス提供を行った場合に加算されます。
- ② 長時間訪問看護加算 300 単位/回
特別な管理を必要とする利用者に対して、90 分以上の訪問看護を行った場合に加算されます。
- ③ 複数名訪問加算 (30 分未満の場合) (I) 254 単位/回 (II) 201 単位/回
(30 分以上の場合) (I) 402 単位/回 (II) 317 単位/回
同時に (I) 複数の看護師等または (II) 看護師等と看護補助者が訪問看護を行った場合に加算されます。
- ④ 緊急時訪問看護加算 (予防) (I) 600 単位/月 (II) 574 単位/月
利用者又はその家族等から電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応できる体制にあり、緊急時訪問を必要に応じて行う体制がある場合に加算されます。
- ⑤ 特別管理加算 (I) 500 単位/月 (II) 250 単位/月
特別な管理を必要とする利用者に対して、サービス実施に関する計画的な管理を行った場合に加算されます。
- ⑥ ターミナルケア加算 2,500 単位/月
死亡日及び死亡日前 14 日以内に 2 回以上ターミナルケアを行った場合に加算されます。
- ⑦ 初回加算 (予防) (I) 350 単位/月 (II) 3000 単位/月
新規に訪問看護計画書を作成した利用者に対して、病院、診療所から (I) 退院した日、(II) 退院した日の翌日以降に初回の訪問看護を行った場合に加算されます。
- ⑧ 退院時共同指導加算 (予防) 600 単位/回
病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (以後、入院施設等) を退院・退所するにあたり、入院施設等の従業員と共同し、在宅での療養上必要な指導を行い、その内容を文書により提供した場合に加算されます。
- ⑨ 看護体制強化加算 (I) 550 単位/月 (II) 200 単位/月
(予防) 100 単位/月
医療ニーズの高い利用者へのサービス提供体制を強化した場合に加算されます。
- ⑩ サービス提供体制強化加算 (予防) (I) 6 単位/回 (II) 3 単位/回
看護師等の総数のうち、勤続年数が (I) 3 年以上、(II) 7 年以上の職員が 30% 以上占めているなど、一定の基準を満たしている場合に加算されます。
- ⑪ 看護・介護職員連携強化加算 250 単位/月
たんの吸引等が必要な利用者訪問介護事業所と連携し、計画の作成等に対する助言等の支援を行った場合に加算されます。
- ⑫ 専門管理加算 250 単位/回
緩和ケア等に係る専門の研修を受けた看護師が訪問看護の実施に関する計画的な管理を行った場合に加算されます。
- ⑬ 口腔連携強化加算 50 単位/回
口腔の評価を歯科医療機関及び介護支援専門員に情報提供した場合に加算されます。

【医療保険による利用料金】

(1) 基本利用料

項目	内容		自己負担分／回 (1割負担)	
訪問看護基本療養費（Ⅰ）	週3日まで		555円	
	週4日目以降		655円	
	悪性腫瘍の利用者に対する緩和ケア、褥瘡ケア又は人工肛門ケア及び人口膀胱ケアに係る専門の研修を受けた看護師が訪問した場合		1,285円	
理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による場合			555円	
訪問看護基本療養費（Ⅱ）	同一建物 居住者で 同一日複数者	週3日まで	同一日2名	555円
			同一日3名	278円
		週4日目以降	同一日2名	655円
			同一日3名	328円
訪問看護基本療養費（Ⅲ）	外泊中の訪問看護		850円	
管理療養費	月の初日		767円	
	月の2日目以降		300円	

※保険の種類などにより、自己負担分の料金が異なります。（1～3割）

※訪問時間は、30分以上1時間30分未満となっています。訪問回数は、厚生労働大臣が定める疾病等及び特別訪問看護指示書が交付された場合を除き、週3日までとなっています。

(2) 加算（自己負担分 1割の料金）

- ① 24時間対応体制加算 680円／月（それ以外の場合 652円／月）
利用者又はその家族等から電話等により看護に関する意見を求められた場合に常時対応できる体制にあり、緊急時訪問を必要に応じて行う体制がある場合にあって看護業務の負担軽減の取り組みが行われている場合に加算されます。
- ② 緊急時訪問看護加算 265円／日（月14日目まで） 200円／日（月15日目以降）
診療所、在宅療養支援病院との連携により緊急訪問した場合に加算されます。
- ③ 夜間・早朝訪問看護加算 210円／回
深夜訪問看護加算 420円／回
夜間（18時～22時）又は早朝（6時～8時）、深夜（22時～翌朝6時）にサービス提供を行った場合に加算されます。
- ④ 長時間訪問看護加算 520円／回
特別な管理を必要とする利用者に対して、90分以上の訪問看護を行った場合に加算されます。
- ⑤ 難病複数回訪問加算
同一建物内に居住する厚生労働大臣の定める疾病等の利用者に対し、（イ）2人まで（ロ）3人以上の訪問看護を行った場合に加算されます。
（イ）1日に2回 450円／日 3回以上 800円／回
（ロ）1日に2回 400円／日 3回以上 720円／回

- ⑥ 看護・介護職員連携強化加算 250 円／月
たん吸引等が必要な利用者に訪問介護事業所と連携し、計画の作成等に対する助言等の支援を行った場合に加算されます。
- ⑦ 特別管理加算 (イ) 500 円／月 (ロ) 250 円／月
特別な管理を必要とする利用者に対し、サービスの実施に関する計画的な管理を行った場合に加算されます。
(イ) 在宅悪性腫瘍患者指導管理や留置カテーテルを使用している場合等
(ロ) 在宅酸素、経腸栄養、訪問点滴注射管理指導、真皮を超える褥瘡の状態等
- ⑧ 退院時共同指導加算 800 円／回 (特別管理加算対象の方は、追加で 200 円／回 加算)
入院中、入所中の利用者に対して、在宅生活における必要な指導を入院・入所施設において共同で行い、その内容を文書により提供した場合に加算されます。
- ⑨ 複数名訪問看護加算
・同一建物居住者である (イ) 2 人まで (ロ) 3 人以上の利用者に対して、看護師等が、他の看護師等又は看護補助者と同時に訪問看護を実施した場合に加算されます
(イ) 450 円／回 (ロ) 400 円／回 (看護師等との同行訪問。週 1 日に限り加算)
(イ) 380 円／回 (ロ) 340 円／回 (准看護師との同行訪問。週 1 日に限り加算)
(イ) 300 円／回 (ロ) 270 円／回 (看護補助者等と同行訪問。週 3 日までに限り加算)
・同一建物居住者である (イ) 2 人まで (ロ) 3 人以上の特別な管理を必要とする利用者等にその他職員と訪問看護を実施した場合に加算されます。
(イ) 1 日に 1 回 300 円 / 2 回 600 円 / 3 回 1,000 円
(ロ) 1 日に 1 回 270 円 / 2 回 540 円 / 3 回 900 円
- ⑩ 退院支援指導加算 (イ) 600 円／回 (ロ) 840 円／回
(イ) 末期の悪性腫瘍等の利用者に退院日に在宅において療養上必要な指導を行った場合
(ロ) 長時間の訪問看護を要する利用者に 90 分を超える療養上必要な指導を行った場合
- ⑪ 在宅患者連携指導加算 300 円／回
訪問診療を実施している医療関係職種間において、月 2 回以上、文書等により情報共有を行い、共有された情報を基に療養上必要な指導を行った場合に加算されます。
- ⑫ 在宅患者緊急時等カンファレンス加算 200 円／回
利用者の急変等に伴い、保険医の求めにより開催されたカンファレンスに看護師等が参加して共同で利用者や家族に指導を行った場合に加算されます。
- ⑬ 専門管理加算 250 円／月
緩和ケア、褥瘡または人工肛門ケア等に係る専門の研修を受けた看護師又は特定行為研修を修了した看護師が訪問看護の実施に関する計画的な管理を行った場合に加算されます。
- ⑭ 訪問看護ターミナル療養費 2,500 円／月
在宅または特別養護老人ホーム等にて死亡日及び死亡日前 14 日以内に 2 回以上ターミナルケアを行った場合に加算されます。(特養等で看取り介護加算を算定している場合 1,000 円／月)
- ⑮ 訪問看護ベースアップ評価料 78 円／月
訪問看護の実施に関する計画的な管理を継続して行った場合に加算されます。
- ⑯ D X 情報活用加算 5 円／月
医療 D X 情を活用した訪問看護を提供した場合に加算されます。
- ⑰ 訪問看護情報提供療養費 150 円／月
区市町村等、学校等、保険医療機関等に対して、訪問看護に関する情報提供を行った場合に加算されます。

(3) その他の費用について

種 類	内 容	利用料金
死後の処置		12,000 円 (税別)

(4) 支払方法

【ご利用締め】 毎月月末締め、翌月 10 日頃に請求書発行いたします。

【お支払い日】 翌月 27 日に口座振替いたします。

(お振替日が金融機関休業日の場合、翌営業日となります。)

- ・お支払いが確認できましたら領収書を発行いたします。

(訪問時に看護職員が請求書、領収書をお持ちします)

なお、口座振替ができなかった場合は、窓口でお支払いをお願いいたします。

- ・正確な保険給付を受ける為に毎月「介護保険証」「介護保険負担割合証」「医療保険証」等（「福祉給付金資格者証」「限度額適用認定証」「特定疾患医療受給者証」など）の確認をいたします。ご協力をお願いします。

9 サービスの提供にあたって

- (1) サービスの提供に先立って、介護保険被保険者証に記載された内容（被保険者資格、要介護認定の有無及び要介護認定の有効期間）・医療保険者証を確認させていただきます。被保険者の住所などに変更があった場合は速やかに当事業所にお知らせください。
- (2) 訪問看護ステーションの職員は、常に身分証を携帯し、初回訪問時及び利用者または利用者の家族から提示を求められた時は、いつでも身分証を提示します。
- (3) 主治医の指示並びに利用者に係る居宅介護支援事業者が作成する居宅サービス計画に基づき、利用者及び家族の意向を踏まえて、訪問看護計画を作成します。なお、訪問看護計画は、利用者等の心身の状況や意向などの変化により、必要に応じて変更することができます。

10 虐待の防止について

事業者は利用者等の人権の擁護・虐待の防止等のために、次に掲げるとおり必要な措置を講じます。

- (1) 虐待防止に関する責任者を選定しています。

虐待防止に関する責任者	訪問看護ステーション管理者
-------------	---------------

- (2) 成年後見制度の利用を支援します。
- (3) 苦情解決体制を整備しています。
- (4) 従業者に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施しています。
- (5) サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（現に養護している家族・親族・同居人等）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかにこれを市町村に通報します。

11 身体拘束について

事業所は利用者の生命または身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束を行わないこととし、次に掲げるとおり必要な措置を講じます。

- (1) 身体拘束を行う場合には、主治医及び他機関と連携を図り、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況ならびに緊急やむを得ない理由を記録します。
- (2) 身体拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な研修等や委員会の開催し、その結果について職員に周知徹底を図ります。

12 事業継続に向けた取り組みについて

事業所は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する訪問看護の提供を継続的に実施するため及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（業務継続計画）を策定し、業務継続計画に従い必要な措置を講じます。

- (1) 職員に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的に行います。
- (2) 定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行います。

13 秘密の保持と個人情報の保護について

- (1) 事業所は、正当な理由がない限り、その業務上知り得たご利用者様及びそのご家族の秘密を漏らしません。
- (2) 事業所は、従業員が退職後、在職中に知り得たご利用者様及びそのご家族の秘密を漏らすことがない様、必要な措置を講じます。
- (3) 事業所は、ご利用者様の求めに応じてサービス提供記録を開示します。但し、家族その他の者（代理人を含む）に対しては、ご利用者様の承諾その他必要と認められる場合に限りこれに応じます。

※下記の条件の範囲で、個人情報を第三者に提供する場合があります。

- ①介護サービス提供のため必要な場合
(ケアプランの作成、サービス担当者会議等)
- ②介護・医療保険事務遂行のため必要な場合
(審査支払機関への請求、明細書提出及び照会の回答等)
- ③生命、身体の保護のため必要な場合
(災害時において、安否確認情報を行政に提出する場合等)

14 緊急時の対応方法について

訪問看護実施中に利用者の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、必要に応じて臨時応急の手当を行うとともに、速やかに主治の医師に連絡をし、必要な措置を行います。

15 苦情等申立先

苦情相談窓口	訪問看護ステーション平針なみき 管理者 中根 光奈子 受付時間 9:00 ~ 17:00 電 話 (052) 848-2063 F A X (052) 848-2039 並木病院内に備えつけられた「ご意見箱」をご利用いただき、お申し出いただくこともできます。
苦情申立機関	愛知県国民健康保険団体連合会 電話 (052) 971-4165 名古屋市健康福祉局高齢福祉部介護保険課居宅指導担当 電話 (052) 959-3087 日進市役所 介護福祉課 電話 (0561) 73-7111 東郷町役場 長寿介護課 電話 (0561) 38-3111

16 介護サービスの評価実施状況

第三者評価の実施	無
----------	---

17 事故発生時の対応

- (1) 訪問看護の提供により事故が発生した場合には、速やかに利用者及び利用者の家族又は身元引受人に連絡するとともに、必要な措置を講じます。
- (2) 訪問看護の提供に伴って事故が発生した場合には、当事業所は、利用者に対して損害を賠償します。
- (3) 利用者の責に帰すべき時由によって、当事業所が損害を被った場合、利用者及び扶養者は、連帯して当事業所に対してその損害を賠償するものとします。

【訪問看護ステーション平針なみき 通常の実施地域】

■天白区の全域

■名東区の一部地域

梅森坂 梅森坂西 新宿 高針荒田 高針原 天白町 藤巻町 牧の原 松井町 大針 牧の里

■緑区の一部地域

赤松 梅里 神の倉 熊の前 黒沢台 白土 西神の倉 東神の倉 久方
元徳重 桃山 滝ノ水

■東郷町の全域

■日進市の一部地域

赤池 赤池町 赤池南 浅田町 浅田平子 梅森町 折戸町 香久山 蟹甲町
野方町 藤塚 本郷町 南ヶ丘 東山 岩崎町 梅森台

■瑞穂区の一部地域

下坂町 豊岡通 亀城町 大喜町 日向町 弥富通 田辺通 山下通 瑞穂通 田光町 高田町
下山町

訪問看護ステーション平針なみき 個人情報利用同意書

私及びその家族の個人情報については、次に記載するところにより必要最小限の範囲内で使用する事に同意します。

【利用者への介護サービスの提供に必要な利用目的】

〔事業所内部での利用目的〕

- ・当事業所が利用者等に提供する介護サービス
 - －介護保険事務・介護サービスの利用者に係る当施設の管理運営事務のうち
 - －入退所・通所等の管理
 - －会計、経理
 - －事故等の報告
 - －当該利用者の介護、医療サービスの向上

〔他の事業者等への情報提供を伴う利用目的〕

- ・当事業所が利用者等に提供する介護サービスのうち
 - －利用者に居宅サービスを提供する他の居宅サービス事業者や居宅介護支援事業所等との連携（サービス担当者会議等）、照会への回答
 - －その他の業務委託
 - －利用者の診察等にあたり、外部の医師等の意見・助言を求める場合
 - －検体検査業務の委託その他の業務委託
 - －家族等への心身の状況説明
- ・介護保険事務のうち
 - －保険事務の委託
 - －審査支払機関へのレセプトの提出
 - －審査支払機関または保険者からの照会への回答
- ・損害賠償保険などに係る保険会社等への相談または届出等
- ・事故等の報告

【上記以外の利用目的】

〔事業所内部での利用目的〕

- ・当事業所の管理運営業務のうち
 - －医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
 - －当施設において行われる学生の実習への協力
 - －当施設において行われる事例研究

〔他の事業者等への情報提供に係る利用目的〕

- ・当事業所の管理運営業務のうち
 - －外部監査機関への情報提供
 - －他事業者、利用者等への情報提供

令和 年 月 日

利用者 氏名 _____

署名代行者 氏名 _____ 続柄 ()

家族代表者 氏名 _____ 続柄 (_____)

訪問看護ステーション平針なみき利用同意書

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

訪問看護ステーション平針なみき
理事長 並木 一代 殿

< 利用者 >

住 所

氏 名

電話番号

< 署名代行者 >

氏 名

利用者との関係 (_____)

< 家族代表者 >

住 所

氏 名

続 柄 (_____)

訪問看護ステーション平針なみきの利用するにあたり、利用契約に基づき、重要事項説明書を受領し、これらの内容及び利用者負担に関して担当者による説明を受けました。